

新任校長オンライン集合ハイブリッド研修 ～学校管理職研修の充実に向けた先導的プログラム形成事業～

令和6年度予算額
(前年度予算額)

16百万円
20百万円)



文部科学省

背景・課題

- 加速度を増す社会的変化に対応するため、学校教育においては「新学習指導要領の全面实施」、「学校における働き方改革」、「GIGAスクール構想」等といった新たな施策が進められるなど、教育を巡る状況そのものの変化もスピード感を増している。
- こうした社会的変化に対応し、学校教育が成果を上げることができるかどうかは、教師の力に大きく依存している。教師が時代の変化に応じた高い資質能力を身に付け、生き生きと活躍できる環境を整備するためには、校長等の管理職のマネジメント能力の向上が不可欠である。
- このため、新たに校長職に着任する機会を捉え、マネジメントに関する課題を切り口とする実践プログラムの実施を通じて、新任校長のマネジメント能力の一層の向上を図る。
- 本事業の趣旨・目的や成果等を全国に展開できるよう、協力教委における実践プログラムの実施のみならず、全国の新任校長（約6,000名）を対象とする講習動画のライブ配信やオンラインフォーラムを併せて実施する。

事業内容

○実施方法（詳細は右記【年間の流れ：イメージ】を参照）

年間を通して、3つのステップからなる事業を実施。

STEP1：校長職の魅力や本事業の趣旨・目的等を伝える動画を配信。

STEP2：国が提示する先導的研修の実践モデル・テーマに基づき、実践教委において、新任校長のマネジメント能力向上に関する実践プログラムを実施。

STEP3：STEP2の成果等を展開するためのオンラインフォーラムを実施。

○運営体制

- 協議会・文部科学省、教職員支援機構、教育委員会関係者、大学関係者で構成。
実践プログラムなど研修全体を立案するとともに、実践教委や新任校長への支援等を実施。
- 実践教委・協議会と連携しつつ、STEP2における実践プログラムを実施。
STEP3のオンラインフォーラムにおいて、成果報告等を実施。

○費用

- 協議会運営に係る委託費 16百万円
(実践教委の経費・動画制作等に係る委託費 含む)
+ 事務費

○事業期間

- 令和4年度～令和6年度（予定）

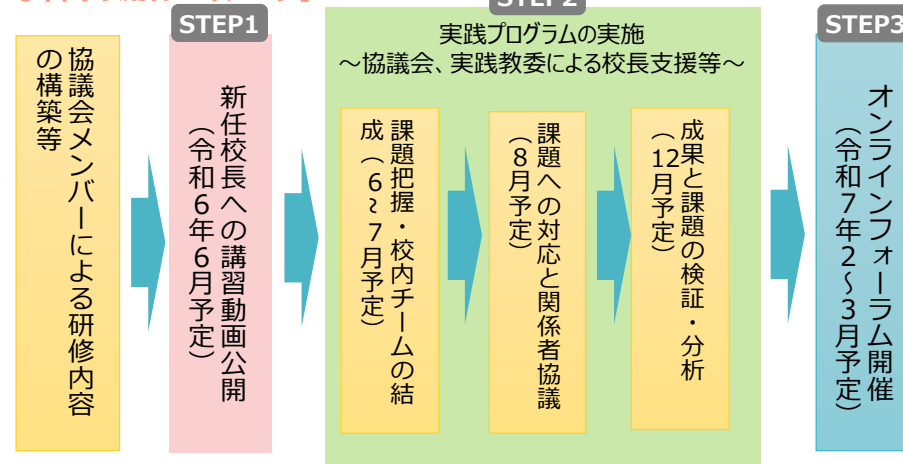
アウトプット（活動目標）

- 新任校長が学校長としての課題への組織的対応力や学校マネジメント力・人材育成能力等を身につけるとともに、国の施策方針への理解を深める。
- 学校の具体的な課題に即した研修を実践することで得られる満足度を高め、オンライン研修のみ参加の新任校長も、自校のマネジメントに生かそうとする。

アウトカム（成果目標）

- 従来の研修と比較した研修の満足度有用感の向上。
- 管理職研修の在り方の実践的なプログラムの確立と他の研修への波及。

【年間の流れ：イメージ】



●STEP1（令和6年6月予定）

- ・ 全国の新任校長（約6,000名）を対象にして、校長職の魅力や本事業の趣旨・目的等に関する動画を配信（動画を録画することで、オンデマンド配信にも対応）

●STEP2（令和6年6月～12月予定）

- ・ 6月、8月、12月の3段階（予定）で、新任校長のマネジメント能力向上に関する実践プログラムを実施
- ・ 実践成果を協議会に適宜フィードバックし、協議会は実践教委に対し必要な支援を実施

●STEP3（令和7年2～3月予定）

- ・ 実践プログラムの成果・分析結果等をオンラインフォーラムを通じて共有

(担当：総合教育政策局 教育人材政策課)